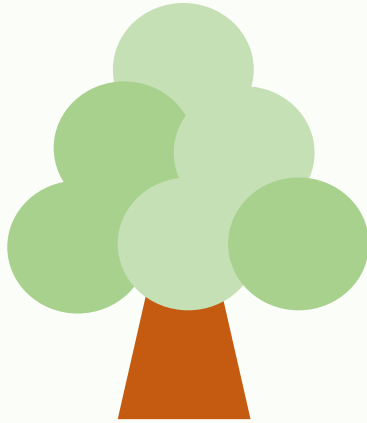




こかげのにちじょう⑧

～自作自演～

鳴海 明敏

5月某日

<エピソード>

夕食後、それぞれがテレビを見たり職員と話したり和やかに過ごしている2階ホールに、小6男子の次郎くんが走り込んできて、「Aくん（中2男子）が、チンチン出してます～」と大声で叫んだ。ホールに居た皆が何だろうと注意を向けると、次郎くんは再び男子棟に走って行った。しばらくすると、また次郎くんがホールに現れたとおもったら、Aくんが追いかけてきて、次郎くんにご下座をして謝り始めた。

<次の日、Aくんが話したこと>

このエピソードの時、たまたま2階ホールで勤務していた職員のbさん（女性）が、次の日の夜の時間帯でAくんと一緒になったので、ストレートに「あなた本当にチンチン出したりしたの？」を聞いたところ、Aくんから「（自分の担当の）cさん（男性）と話がしたい」という申し出があった。

早速bさんは、Aくんがcさんと話せるように手配をした。

<Aくんがcさんに話したこと>

最初に、次郎くんが居室内で、ふざけて無理矢理Aくんのズボンを降ろしてペニスを露出させた。Aくんが「嫌だ、止めろ」と言っても、次郎くんはケラケラ笑っているだけで止めようとしなかった。

Aくんのペニスを露出させたら、次郎くんはホールへ走っていった。そして、すぐまた戻ってきて、Aくんに対して「おまえ、ガチでヤバイよ」と言って、さらに「チンコ出したこと、謝れ」って言ってきた。

Aくんは、「なんで次郎くんがそう言うのか、わからなかったけど・・・ご下座しろって言われて・・・しないと関わらないよって言われて・・・（次郎くんに関われないのは）嫌だから

土下座した」という内容だった。

<次郎くんがやっていたこと>

次郎くんは入所半年くらい経過しているが、表面的にはお利口さんになっているが、どうも裏でいろいろ他児を操作しているような気配があつて気になっていたのだが、なかなか実態を見極めることが出来なかった。

今回、たまたま b さんと c さんの職員の連携プレイで、次郎くんの実態の一端を垣間見ることが出来た。次郎くんは、①無理矢理 A くんのパニスを露出させておいて、②その A くんの問題行動（パニスを露出する）を発見したとホールで職員や皆に報告し、③問題行動をした A くんを「ガチでヤバイよ」と決めつけ、④皆の前で自分に謝罪をさせるという一連のストーリーを自作自演していたのである。

<気が付いたこと>

交替勤務の職員は、決められた時間、決められた場所を把握することになるので、一人のこどもの一連の行動についてその全体を把握することが出来ないということなのである。

そのことを踏まえながら、他児を支配し自作自演をしてまで次郎くんが欲しいと思っているものはなにか。ここから次郎くんを理解しようとする試みが始まる。

（了）